

# 報告事項No. 1

## 会 議 録

|           |       |                                                                                              |
|-----------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会 議 の 名 称 |       | 令和8年度 第1回守谷市保健福祉審議会健康づくり分科会                                                                  |
| 開 催 日 時   |       | 令和8年6月23日（火）<br>開会：午後1時00分 閉会：午後2時30分                                                        |
| 所管課       |       | 健幸福祉部 保健予防課                                                                                  |
| 出席者       | 委 員   | 塩澤会長、鎌田委員、奥田委員、川名委員、吉田委員<br>計5名                                                              |
|           | そ の 他 |                                                                                              |
|           | 事 務 局 | ＜保健予防課＞<br>倉持課長、大川課長補佐、鈴木係長、野地係長、高田係長、塩畑主事<br>＜おやこ保健課＞<br>笠見課長、佐藤課長補佐、岩瀬係長、亀崎係長、荒木係長<br>計11名 |

## 審 議 経 過

|   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 開 会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 2 | あいさつ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 3 | 報告事項<br>(1) 第三次健康もりや21計画令和8年度取組状況について<br>(2) 第三次健康もりや21計画中間評価について<br>(3) 新型インフルエンザ等対策行動計画改定について<br>(4) 産婦人科・小児科オンライン相談事業について<br><br>【主な意見等】<br>(1) 第三次健康もりや21計画の進捗報告<br>① 健康増進計画（身体活動・運動～健康管理・地域における健康づくり）<br><br>【報告】<br>・令和7年度はアンケート未実施のため評価指標の多くは更新なし。<br>・特定健康診査受診率（国保）は49.3%とコロナ禍以降上昇し、近年は50%弱を維持している。<br>・心の健康相談については、デジタルサイネージやホームページ等を活用し周知を行っており、相談件数は前年と比較し1割程度増加している。 |

### 【質疑応答】

- ・ ころの健康相談の件数が増えているが、どのようなケースがあるのか。希望者に対して実施しているのか。また、高校生への普及啓発の内容は。

⇒10代の方の自殺未遂など、さまざまな相談がある。高校生へはリーフレットの配布を行っている。

- ・ 特定健診受診率に、企業健診や人間ドック受診者の人数は含まれているか。

⇒本数値は国保加入者のみの受診率。

- ・ 骨粗しょう症予防教室の対象が70歳までとなっているのはなぜか。

⇒健康増進法で骨粗しょう症検診の対象年齢が定められているため。現在は、若い世代からの予防をメインに実施している。

### ②食育推進計画

#### 【報告】

- ・ 乳幼児期：乳幼児健診において、野菜摂取に関する普及啓発を実施。また、月齢に合わせた教室や個別相談を実施している。
- ・ 学齢期から成人期：小学校4年生を対象に、市内小学校9校で計23回の健康教育を実施。

#### 【質疑応答】

- ・ 飲み物に含まれる砂糖の量を具体的に提示すると、より判断しやすくなるのではないか。

⇒啓発用の媒体（パネル等）は作成しており、集団健診会場での掲示などを行っている。今後も周知方法を工夫していきたい。

### ③自殺対策計画

#### 【報告】

- ・ 広報誌、ホームページ、X、デジタルサイネージなど、多様な媒体を用いて相談窓口を周知した。Xでは時期に合わせて投稿内容を工夫し、配信を行った。
- ・ ひきこもり当事者を講師に招き一般市民向けの講座を開催した。
- ・ 関係機関とのケース検討では、結果のみならず支援のプロセスを重視するよう共有し、支援者の資質向上に努めた。

#### 【質疑応答】

- ・ 自殺者4名の年齢層はどのようになっているか。また、その年齢層に基づいた支援はなされているか。

⇒数が少ないため、詳細な属性を公表すると個人が特定される恐れがあり、非公表としている。傾向としては中高年男性が多い現状にあり、それらに応じた対策を行っている。

- ・当事者家族も高齢化している。支援の手が届くことが望ましいと考えるかどうか。

⇒家族の支援は非常に重要である。民生委員などと連携・相談しながら、継続的な支援に努めている。

#### ④母子保健計画

##### 【報告】

- ・各種指標は、すべて国のベースライン値を上回っている。
- ・妊娠期から産後、乳幼児期まで、さまざまな事業を通して切れ目のない支援を実施している。
- ・母親学級については、就業する妊婦の増加や、産院での教室利用者が多い状況を鑑み、令和7年度をもって事業を終了した。令和8年度からは、ニーズが高まっている「パパママクラス」を拡充し、父親・母親への支援を強化していく。

##### 【質疑応答】

- ・「育てにくさ」という言葉は抽象的だが、どのような状態を定義しているのか。

⇒国の健やか親子21で提示されている文言である。発達障がいの有無に限らず、「泣き止まない」ことへの不安や、保護者が「大変だ」と感じる主観的な育てにくさも含まれている。

- ・おやこふらっと保健室ではどのような相談があり、どの程度利用されているか。

⇒令和7年度の利用実績は、保健センター275人、出張相談で150人程度での利用であった。ふらっと立ち寄る方のほか、離乳食や体重に関する相談を目的とする方もおり、月齢や相談内容は多岐にわたっている。

#### (2) 第三次健康もりや21計画中間評価について

##### 【報告】

- ・令和8年度に「第三次健康もりや21計画」の中間評価を実施する。目標の進捗状況や取り組みの状況を確認し、今後の方向性について検討を行う。
- ・具体的なスケジュールとしては、9月頃に市民アンケートを実施し、年末までに評価（案）を作成する。その後、令和8年12月を目安に第2回健康づくり分科会を開催する予定である。

##### 【質疑応答】

特になし

#### (3) 新型インフルエンザ等対策行動計画改定について

**【報告】**

- ・パブリックコメントを実施した結果、1 名の方から 5 件の意見が提出された意見に基づく計画案の修正は行わず、今後の施策への意見および要望として受理した。
- ・今後のスケジュールについては、7 月に開催予定の保健福祉審議会を経て、9 月に公表する予定である。

**【質疑応答】**

特になし。

(4) 産婦人科・小児科オンライン相談事業について

**【報告】**

- ・サービスの概要：市民が安心して妊娠・出産・子育てできる環境整えるため、気軽にオンライン相談ができるサービス。妊産婦と、0～18 歳の子どもに関する相談が対象。  
令和 8 年 7 月 1 日よりサービスを開始する。

**【質疑応答】**

- ・外国籍の住民も多いが、相談は日本語のみか。  
⇒英語であれば対応可能。

(意見)

- ・既存の県の事業 #8000 と重複する部分もある。市での取組は進んでいるが、県としていずれかは一本化すべきと考える。

4 閉会